

国土交通大臣賞

「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

鴻池組・春名建設

特定建設共同企業体 神戸市危機管理センター新築工事

所在地

兵庫県神戸市

受賞テーマ

狭小な敷地のビル建設における産業廃棄物の積極的な分別の実施及び発生抑制・再利用による、混合廃棄物の発生を抑制する

同現場は、神戸市の危機管理センター新築工事（神戸市役所 4 号館）において、神戸市が推進するゼロエミッション運動に取り組み、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）について、以下のような取り組みを実施した。具体的数値目標は、神戸市のゼロエミッション運動で数値指標としている、混合廃棄物原単位を 9.9kg/m²以下とした。

リデュース（発生抑制）

- ・資材を使用寸前にプレカットして搬入することにより、端材等の残材の発生を抑制した。
- ・梱包材を異物の着き易いビニール系の物から可能な限りダンボール材にするように製造メーカーに依頼した。
- ・梱包材が必要でないものは、予めメーカーに指示して無梱包で搬入した。
- ・出来るだけ工場組立を行った。

リユース（再利用）

- ・搬入用パレットについて、再使用可能な物とするよう製造メーカーに依頼した。
- ・パレット、木製ドラムの再使用をした。
- ・土のう袋・ガラ袋を再使用した。
- ・基礎埋め戻しに流動化処理土を利用した。

リサイクル（再生利用）

- ・ゴミステーション（分別収集）を設置して廃棄物の分別を行い混合廃棄物の減量化を図った。
狭小現場の為、1 m²のコンテナを利用して分別の徹底を図った。現場進捗状況により、コンテナの数量を調整した。
分別種類としては、以下の通りである。
- 1. 廃プラスチック類、2. 木くず、3. がれき類、4. プラスターボード、5. 紙くず（有価物・専ら物）、6. スクラップ（有価物・専ら物）、7. ALC
- ・作業員の弁当ガラ、空き缶、ペットボトル等は、事業系一般廃棄物としてリサイクル化に協力
- ・広域認定制度の活用（クリオンリサイクルシステムの採用、建築用シーリング材用プラスチック製容器の使用後の処理）



ゴミステーション状況